

葛飾 商店街と共同開催 住宅まつりで技術を体験

【葛飾書記・沼美幸通信員】りと青戸フェアで分けて使用葛飾支部は10月7日、青戸平和公園で、住宅まつりを開催。商店街主催の「青戸フェア」と共同開催で会場を住宅まつりとして青戸フェアで分けて使用しました。



上棟式とお菓子まきは多くの参加者で盛り上がった

夏のように暑い日で、かき氷がよく売れました。後継者対策部と青年部は共同で気仙沼ホルモンを販売し、復興支援でのご縁から、気仙沼市のふかひれスープやハーモニカ(メカジキ)の煮付けの販売などもありました。

工作教室は、定番の銅板のほか、モザイクタイル、マガジンラック、イス型の置き台、ティッシュボックスを用意。材料はすべてカット済みで、釘を打てば完成です。職人コーナーでは、左官、内装、建具、大工の4業種を扱いました。大人から子どもまで、技術を体験していました。女性の会は、盲導犬協会の方を招き販売と盲導犬とのふれあいを行ないました。

締めは上棟式とお菓子まき。暑い中でしたが、多くの人が参加してくれました。

SNSで来場者増 4回目のD0ケンフェス

渋谷



組み木に夢中になる女の子

【渋谷・書記・今井航記】9月30日、恵比寿公園で第4回目となる渋谷D0ケンフェス。フェスティバルを行ない、当日は15時以降、雨風が強まる予報だったため、12時半までの時短、規模を一部縮小して開催し、3500人を超える来場者が公園に集まりました。フェスティバルの中では各種建設業職人体験として大工、左官、塗装、クロス、カーナ削りの5種類を行ない、こちららたくさんの子もたちが体験を楽しみ、春の住宅デーから子どもたちに木に触れてもらおうと行なっているアートクラス(サイコロ作り)も人気がありました。恵比寿公園での開催は初めてということもあり、皆試行錯誤しながらの準備でしたが、子ども連れの来場客で賑わい、当日は来場者によって地域のSNSで情報が拡散されて来場者が増え、来場者アンケートでも「来年もやってほしい」という声が多く、次回以降への手ごたえを感じるフェスティバルとなりました。

足立 鹿沼市の木材使用 Aフェスタでアピール

【足立・書記・吉田博道記】

Aresta(あだち区民まつり)は、10月6日に開催されました。当初6日、7日の2日間に渡って開催する予定でしたが、接近の確認されていた「台風25号」の影響で、7日の開催は見送られました。

今となっては、毎年恒例となった区民へのアピールの場となった催しということもあり実行委員の士気も高く、一致団結し当日に向け準備を進めました。

今回の参加からより「建設業のアピール」に特化した内容を企画しました。新たな取り組みとして「丸太切り大会



足立区長も丸太切りに挑戦

選会」で盛り上がりました。B&Q後はサイボクハムに立ち寄り、工場直営店の畜産製品ショッピングを楽しみ、帰路に着きました。

後継者対策部員はバス車内での点呼や仲間づくり運動への決起のお願い、昼食交流と「こども抽選会」の準備など諸事に渡り走り回りました。参加者は役員も含め50歳未満の組合員と家族に限ったことで、まさに次世代の組合と業界を担う若い力が結集した取り組みとなりました。

中でも丸太切り大会では、足立区の友好都市である栃木県鹿沼市の木材を使用することで、区民だけでなく行政へもアピールすることが出来ました。

来賓としては、足立区の近藤やよい区長をはじめ、さまざまな議員の方がお見えになり、木材についての良さを伝えることが出来ました。また子どもたちも多く大会に参加し、笑顔で体験を行なっていました。

【渋谷・書記・今井航記】9月30日、恵比寿公園で第4回目となる渋谷D0ケンフェス。フェスティバルを行ない、当日は15時以降、雨風が強まる予報だったため、12時半までの時短、規模を一部縮小して開催し、3500人を超える来場者が公園に集まりました。フェスティバルの中では各種建設業職人体験として大工、左官、塗装、クロス、カーナ削りの5種類を行ない、こちららたくさんの子もたちが体験を楽しみ、春の住宅デーから子どもたちに木に触れてもらおうと行なっているアートクラス(サイコロ作り)も人気がありました。恵比寿公園での開催は初めてということもあり、皆試行錯誤しながらの準備でしたが、子ども連れの来場客で賑わい、当日は来場者によって地域のSNSで情報が拡散されて来場者が増え、来場者アンケートでも「来年もやってほしい」という声が多く、次回以降への手ごたえを感じるフェスティバルとなりました。

こども抽選会は大盛況



飯能へバスレク BBQで若手が交流

府中 国立

【府中 交流企画を行なっています。今年10月7日に「BBQ&スレクin飯能」を開催しました。当日は朝から晴天、全分会より28世帯103人が集まりました。

入間川での川遊びでは、耐水紙を使った折り紙船製作を行なうとともに、水着持参で対岸まで泳ぎきる猛者(少年)たちも現れ、意外な盛り上がりとなりました。

B&Q交流は渡邊浩志後継者対策部長の乾杯から始まり、参加者は分会毎に着席し、

板橋 後継対が婚活P カップル2組が誕生

【板橋・書記・山中大輔記】

10月7日、中野サンブラサで後継者対策部主催の婚活パーティーが開催。男性15人女性12人の参加がありました。

本番開始後は、後継者対策部長より挨拶があり、自己紹介を行ない、トークタイムに。

第35回仲間の作品 コンクール募集中

【厚生文化部発】文芸の部は、短歌、俳句、川柳で、募先アドレスはkousenkai@tokyoken.org

3部門の中から一人につき一部門5作品まで応募可能です。所定の用紙に応募部門別、首・句を書き入れ、所属支部に提出してください。

写真の部は、組合活動、スナップ、風景、課題で、4部門の中から、一人につき一部門3作品まで応募可能です。今年の課題は、「ステキな人」。あなたの思う素敵な人や仲間をスマートフォンで撮影し、メールに添付して応募してください。

途中、第一印象から「いいカード」を記入してもらい、ミニゲームに突入。男女で組んでもらい間違え探しを行ないました。一番を競って参加者はヒートアップ。

参加者が競い合っているなか、スタッフで「いいカード」の集計、結果を個別に案内をして、フリータイムに。いよいよカップルの結果を見ながら自分に〇をつけてくれた相手にアプローチをしてトークに花を咲かせていました。最後にドキドキしながら告白カードの記入をし、今回めでたくカップル成立したのが2組。末永くお幸せになっていただければ幸いです。